

## ミシガンで近江の茶はいかがですか？

「今から約 1,200 年前、有名な僧である最澄が中国からお茶の種を日本に持ち帰り、比叡山の麓に種を撒いたことが日本茶の始まりと言われていています。滋賀県のお茶も古い歴史をもっているんですよ。」先日、滋賀県の紹介をミシガンの方々にした際に近江の茶の話をしたところ、「最近、よく日本茶を飲むわよ。滋賀産のお茶はミシガンでは手にはいないの？」、「体に良いからコーヒーを控えて日本茶を飲むようにしているよ。新茶の時期っていつだっけ？」と茶に関するたくさんの質問をいただくなど、日本茶への関心が非常に高いことを実感しました。

農林水産省の調査報告<sup>\*1</sup>によると、米国では日本食ブームの影響等により、お茶の輸出先第 1 位は米国、輸出量は過去 10 年間で約 4 倍に増加しているとのことで、ミシガンでの「日本茶人気」にもうなずけました。

そんな中、滋賀県では 2017 年から近江の茶を姉妹県州であるミシガン州でも楽しんでいただこうと、日本貿易振興機構（JETRO）さんの協力も得ながら、県内の茶業さんらに州内で商談会を実施していただいたり、州内のカフェオーナーさんらに滋賀を訪問していただき茶畑見学や茶摘み体験をしていただくなど近江の茶ツアーを企画したりと、ミシガンでの近江の茶販売促進活動を実施しています。

その活動が実を結び、近江の茶のクリーンな栽培環境と茶葉の上品な味わい、豊かな香りを気にいただいた州内 3 店舗のカフェにて、2018 年夏から近江の茶の提供・取り扱いが開始されています。州内在住日本人の方々からもおいしい日本茶を楽しめる機会が増え、ありがたいとの嬉しいお言葉をいただいています。

近江の茶を取り扱ってくださっている店舗の 1 つ、Eli Tea Bar<sup>\*2</sup> は栗東市の姉妹都市であるバーミングハムにあり、米プロバスケットボールチームのデトロイト・ピストンズの選手も訪れる人気店。オーナーのエリアス・マジッドさんは、元植物学者で、「植



オーナーのエリアス・マジッドさん  
好きな言葉は Brew tea, make Friends



Eli Tea Bar には、世界中から厳選された  
100 種類以上の茶葉が並び

物、自然、科学そして健康を繋ぐ最良の方法は、Tea Shop だとの考えに行きついた。」とカフェを始めた理由を語ってくださいました。また、彼の研究者・教育者としての一面が見られるのが、Tea を通した健康ワークショップ。「ミシガンは全米でも肥満率の高い州。お茶を飲むことは日常的な健康管理の一助となる。顧客への教育も私の使命の1つだと考えているよ。」と、州内だけでなくシカゴやニューヨークなど大都市でも精力的にワークショップを開催し、茶を通した教育に尽力されています。日本茶を用いたワークショップでは近江の茶を使用されており、米国内での教育材料として近江の茶を用いていただいていることを大変嬉しく、また誇らしく感じました。

Eli Tea Bar では、煎茶やほうじ茶、かぶせ茶などお茶そのものを楽しむこともできますが、日本茶や抹茶を用いたオリジナルカクテル商品も多数あります。その中でも人気があるのはココナッツウォーターと滋賀県産抹茶を用いた Coconut H2O & Matcha (\$5.50)。ココナッツウォーターの自然の甘味と抹茶のやさしい苦みのバランスが絶妙で、見た目も爽やかな一品です。

ミシガンの地で、近江の茶でほっと一息。贅沢な時間を過ごさせていただきました。



人気の Coconut H2O & Matcha  
抹茶は毎回茶碗と茶筌で点てられます



寒い時期には、温かい抹茶ラテ  
I LOVE YOU SO MATCHA (MUCH)

#### 参考情報

※1 茶をめぐる情勢（平成 29 年 6 月） 農林水産省

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/tokusan/cha/attach/pdf/ocha-2.pdf>

※2 Eli Tea Bar ホームページ

<https://www.eliteabar.com/>